令和８年度第１回地区推進会議

日時：令和８年11月10日(火)
10時30分～12時00分(予定)
場所：市川市役所第１庁舎５階
第２委員会室

会　議　次　第

１　開　会

２　議　題
⑴　わかちあいプラン振り返りシートと統計について
⑵　アンケート結果について
(ア)自分や家族の健康や病気のこと
(イ)老後のこと
⑶　成年後見制度について

３　閉　会

≪配付資料≫
資料１　：地域福祉の推進体制（第５期市川市地域福祉計画 抜粋)
資料２　：第５期わかちあいプラン　振り返りシート(令和７年度)
資料３　：地域ケアシステム推進に関する統計資料
資料４　：地域課題に関する調査
資料５　：アンケート結果報告
資料６　：共通課題の検討～アンケート結果から～

1　地域福祉の推進体制

地域福祉の推進にあたっては、小域福祉圏（14 地区）の核となる「地域ケアシステム推進連絡会」で取り上げられた各地区の地域課題について、本市が主催する「地区推進会議」で情報共有し、互助・共助の役割では対応が困難な課題については、行政の施策（公助）として実施することについて、検討を行います。

地域ケアシステム推進連絡会（小域福祉圏 14 地区）：年数回
地域の問題を地域で共有し解決に向けた検討を行う場

地区社会福祉協議会が主催する会議体で、地域の情報、地域の課題などについて地域住民と関係機関が共有し、解決方法を導く場であり、多くの関係機関が集まる地域のプラットフォームの場です。

【構成メンバーの例】
自治（町）会関係者、民生委員・児童委員、高齢者クラブ関係者、子ども会関係者、ボランティア・NPO団体関係者、障がい者団体関係者、学校関係者、地域ケア拠点相談員、高齢者サポートセンター職員、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、市川市社会福祉協議会職員、市職員　等

提案・提言など

報告

地区推進会議：年２回程度
各地域課題の検討の場

本市が主催する会議体で、地区社会福祉協議会、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、市川市社会福祉協議会、行政の役割分担を踏まえ、振り返りシートをもとに、小域福祉圏（14 地区）ごとの地域課題に関する進行管理、検証を行います。

【構成メンバー】
地区社会福祉協議会代表者、市川市ボランティア協会代表者、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）、市川市社会福祉協議会職員、市職員

提言

報告

市 川 市

福祉部　地域共生課
関係各課と地域課題の情報共有を図り、地域課題に対応する施策の検討を行う

諮問・報告

答申・意見

市川市社会福祉審議会：年数回
本市における地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉その他の社会福祉に関する事項について調査審議するための諮問機関

【構成メンバー】
学識経験者、関係団体の推薦を受けた社会福祉事業・社会福祉活動を行う者、関係行政機関の職員、公募による市民　等

第５期わかちあいプラン　振り返りシート（令和7年度）

市川第一地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・お互いさま事業の具体化 ・お互いさま事業の実施状況 ・お互いさま事業の充実	・地域システム推進連絡会の場で課題としていたこと「ニーズ」と「担い手」については話し合ったが実際、当地域では自治会単位で要望がなく、進展には至らなかった。 【課題】 ・地域システム推進連絡会で、各自治会等の困りごとなどを聴き取る必要がある。 ・相談員会議を積極的に利用して、ケアに集まった困りごと相談などをまとめる必要がある。	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業について、他地区の実施状況や取り組み事例を会議等で共有し、地域での実施に向けた検討を支援した。 ・各会議にて地域の困りごとやニーズの把握に努めた。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	・てるぼサロンの充実 ・地区社協事業の充実 ・担い手の確保 ・活動の場の確保	○てるぼサロンの運営支援 ・てるぼサロンの参加者は新規参加者が増加傾向にあるが、高齢化のせいか全体的には減少気味である。 ○地区社協事業の開催 ・木曜体操の参加者は昨年と変わらず、月二回参加する方が多数である。 ・「ふれあい会食」の会場を1か所増やしたこともあり昨年より多数の方が参加できた。 ・グランドゴルフは当初予定していた日に「てるぼサロン祭り」と重なり、予備日に開催することになった。 ・5月から始めた「午後のひと時」は、月2回は地域の方が主になり開催。5名程度でおしゃべりをしながら作品作りをしている。 ・「ふれあいコンサート」と「親子クッキング」が無くなったが、その分他の事業の準備に力を入れることができた。 【課題】 ・「てしごとサロン」においては事業内容によって人数の増減があるので、今後考える必要がある。 ・地域事業は活動期間（6月から3月）のなかで行うため、日程調整が難しいので事業数を考える必要がある。 ・「てしごとサロン」の名称の変更が必要。	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業について、相談・調整・運営支援を行った。 ・地域の居場所や活動について情報共有を行い、地域住民の参加やつながりづくりを支援した。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	・地域ケア拠点の充実 ※拠点の機能強化 ・相談員会議の充実 ※相談機能の強化 ※個別ケースの検討 ・地域ケアシステム推進連絡会の充実 ※地域における福祉課題の共有 ※団体間・関係機関との連携・協働	○地域拠点の機能の強化 ・今年度より「午後のひととき（仮）」を始めて地域拠点に新たに地域住民の方を呼び込んでみた。地域の方に自由に過ごしてもらえる環境（パソコン購入等）を整えた。 ・PR（広報活動）に関して、今年度はあまりできなかった。 ○地域ケアシステム推進連絡会・福祉委員会について ・定期的に開催し、各関係機関と地域活動について共有と意見交換を行った。 ○相談員会議について ・定期的に相談員会議を開催し、市役所・社協・CSW・高サポ等とも情報交換や共有した。 【課題】 ・地域ケアシステム推進連絡会において、地域課題についてもっと積極的に話し合える場にする必要がある。 ・特別会計積み立ての運用についての検討が今年度も未実施に終わったので、来年度に検討を要する。	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・地域ケアシステム推進連絡会や相談員会議に参加し、地域課題や個別ケースについて情報共有を行った。 ・個別相談に対応し、必要に応じて関係機関や地域活動につなぐなど、継続した支援を行った。 ・関係機関との連携を図り、地域の福祉課題の把握に努めた。 ・外国籍住民と地域住民とのつながりづくりを目的に、外国籍交流会を地域ケアにて開催した。外国籍住民が地域とつながり、継続して交流できる機会づくりに取り組んだ。 ・西部地区社協交流会を通じて、市川第二・真間地区との情報交換を行い、各地区の取り組みや課題を共有した。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ 地域で行いたい新たな取り組み ～新規事業や新たな提案～	・新規地区社協事業 ・他団体との共催事業 ・他団体の応援・育成事業	・相談員の増加。人材開拓。	・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。		・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

第５期わかちあいプラン　振り返りシート（令和7年度）

市川第二地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ **「お互いさま事業」の実施** ～身近な地域の支え合い～	**・お互いさま事業の具体化** **・お互いさま事業の実施状況** **・お互いさま事業の充実**	（お互いさま事業） ・お互いさま事業について、地域ケア推進連絡会でコミュニティソーシャルワーカーから他地区の状況等の説明を受けた	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業について、他地区の状況など踏まえて会議等で説明を行った	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ **てるぼサロン** **および** **地区社協事業の拡充** ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	**・てるぼサロンの充実** **・地区社協事業の充実** **・担い手の確保** **・活動の場の確保**	（てるぼサロン） ・「ファンタイム（絵手紙サロン）」が4月より新たに実施となった （地区社協事業） ・「ふれあい七社めぐり」を年２回実施した ・「ふれあいセンターまつり」を開催し、屋外会場も使用するなど工夫した。各関係機関の協力もあり盛況であった。 ・地区広報紙「ふれあいDai2」を年２回発行した。内容は地区社協事業の行事周知報告の他、地区内各団体の行事報告の情報が共有できた。 ・福祉委員研修会は、市有バスを利用した研修会の開催ができた。 （課題） ・「ふれあい七社めぐり」でハーフコースのニーズがあり検討を始めた。	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・てるぼサロンの必要性について、会議等で説明を行った ・新規サロンの立ち上げ準備を行った ・地域包括支援課のフレイル予防についてのアンケートをてるぼサロンで行い、サロン参加者の健康に関する調査を行った ・西部地区社協交流会を通じて、市川第一・真間地区との情報交換を行い、各地区の取り組みや課題を共有した。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ **地域連携の強化** ～地域における 福祉課題の把握と対応～	**・地域ケア拠点の充実** **※拠点の機能強化** **・相談員会議の充実** **※相談機能の強化** **※個別ケースの検討** **・地域ケアシステム推進連絡会の充実** **※地域における福祉課題の共有** **※団体間・関係機関との連携・協働**	（地域ケア拠点） ・月～金の１０～１６時まで開所した （地域ケア推進連絡会） ・地域ケア推進連絡会を年６回開催し、地域の福祉課題について情報共有された （相談員会議の開催） ・相談員会議を年６回開催した （課題） ・地域ケア推進連絡会にて地域の福祉課題に対する意見があまり出なかった	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・相談員会議にて、地域ケアに来所者が来るための取り組みとして、他地区の状況を伝えた。 ・個別ケースについて相談に応じ専門機関へ繋いだ。 ・地域ケア会議に参加し、関係機関との連携を図った。 ・高サポ管理者・SCと定期的に会議を開催し連携を図った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ **地域で行いたい新たな取り組み** ～新規事業や新たな提案～	**・新規地区社協事業** **・他団体との共催事業** **・他団体の応援・育成事業**	・てるぼサロンの月別予定表を地域ケア相談員が作成し、福祉委員から各自治会へ掲示板をお願いした。 ・地域ケアの場所を使って、体操など人が来るための企画をし7年度末から開始予定	・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。		・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ **「お互いさま事業」の実施** ～身近な地域の支え合い～	**・お互いさま事業の具体化** **・お互いさま事業の実施状況** **・お互いさま事業の充実**	・国府台地区では手つかずの状態である。	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業について、他地区の状況など踏まえて会議等で説明を行った	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ **てるぼサロン** **および** **地区社協事業の拡充** ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	**・てるぼサロンの充実** **・地区社協事業の充実** **・担い手の確保** **・活動の場の確保**	【てるぼサロンの運営・支援】 ・一年間を通じて自治会の掲示板を活用し、サロンのイベントPRを行った ・福祉委員・自治会役員の声かけにより地域の講師を活用してイベントを開催した結果、新規参加者が増えた ・CSWが個別支援している外国籍住民がサロンに参加する機会が生まれ、地域の居場所が交流の場となった。地域課題を受け止める場としての役割も果たしている 【地区社協事業の開催】 ・一年間を通じて自治会の掲示板を活用し、サロンのイベントPRを行った ・声かけなど積極的な参加を促した ・社協事業で市川みんなで体操を自治会協力のもと始めた ・協賛事業のふれあいフェスティバルに参加し、車椅子体験を行った。 ・てるぼオアシスみんなの給水所を設置した	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・新規サロン立ち上げ希望者へサロン運営についての説明を行った。 ・地域包括支援課のフレイル予防についてのアンケートをてるぼサロンで行い、サロン参加者の健康に関する調査を行った。 ・外国籍住民の居場所としてサロンをつないだ。 ・『市川みんなで体操』の実施に向け、地域住民や関係者との連絡調整、活動支援を行った。体操を通じた健康づくりと、住民同士の交流・つながりづくりを支援した。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ **地域連携の強化** ～地域における 福祉課題の把握と対応～	**・地域ケア拠点の充実** **※拠点の機能強化** **・相談員会議の充実** **※相談機能の強化** **※個別ケースの検討** **・地域ケアシステム推進連絡会の充実** **※地域における福祉課題の共有** **※団体間・関係機関との連携・協働**	【地域ケア拠点の機能強化】 ・地域ケアをもっとPRする ・気軽に立ち寄れる場所にする ・てるぼオアシスみんなの給水所を設置した ・新規イベントを行い、来場者を増やせた ・コミュニティソーシャルワーカーによる出張相談を月１回地域ケア拠点にて行った。 【地域ケアシステム推進連絡会】 ・地域の方とのコミュニケーションを深めた ・関係機関との連携、情報共有を図る	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・相談員会議にて、地域ケアに来所者が来るための取り組みとして、他地区の状況を伝えた。 ・個別ケースについて相談に応じ専門機関へ繋いだ。 ・地域ケア会議に参加し、関係機関との連携を図った。 ・高サポ管理者・SCと定期的に会議を開催し連携を図った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ **地域で行いたい新たな取り組み** ～新規事業や新たな提案～	**・新規地区社協事業** **・他団体との共催事業** **・他団体の応援・育成事業**		・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。		・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ **「お互いさま事業」の実施** ～身近な地域の支え合い～	**・お互いさま事業の具体化** **・お互いさま事業の実施状況** **・お互いさま事業の充実**	・他機関との連携強化。 ・地域情報の集約化と整理。	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業について、他地区の状況など踏まえて会議等で説明を行った	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ **てるぼサロン** **および** **地区社協事業の拡充** ～“ふれあい”や“つながり”を育むために～	**・てるぼサロンの充実** **・地区社協事業の充実** **・担い手の確保** **・活動の場の確保**	・子育て中の親子が集う、「子育てサロンにこにこ」は、親子で楽しむ季節のイベントに加え、子育てに不安を抱えたお父さんお母さんの悩み相談や感情をコントロールするアンガーマネジメントというミニ講座も開催した。 ・「よってこカフェ」- 脳トレ、体操に加え、高サポや関係機関と連携し認知症サポーター養成講座の開催や昼食会など様々なイベントを企画した。 ・「サロンよってこ」- 季節を感じる折り紙や絵手紙などを中心に企画した。２月の「てるぼサロンまつり」には毎年出展し大盛況だった。 ・「ボディケアクラブ」- これまでの講師が産休に入られ、新たな講師を迎え、気功や軽い筋トレ、ストレッチなどを行っている。毎月とても好評で男性参加者も増えており、もっと回数を増やしてほしいとの要望がある。 ・「ラジオ体操」- 恒例の夏季ラジオ体操は、８日間で延べ約2,000人を超える参加があった。中学生がスタンプ押しなどで手伝ってくれ、朝礼台で体操指導を日替わりで子どもたちが行った。 ・「真間小学校七夕まつり」- 子どもたちが短冊に思い思いの願い事を込めて笹の葉に飾った。事前準備や学校と連絡調整に苦慮した。 ・「ふれあい演芸会」- 集会所にて開催。地域の芸達者が、江戸芸かっぽれやアイリッシュハープ演奏など盛りだくさんの内容で、各自治会とも連携し大好評だった。会場の規模に制限があるため、募集人員の調整が課題。 ・「ふれあい交流会」- インフルエンザ大流行の中、予備日を設けながらも大盛況で開催することができた。学校との連絡調整がなかなか難しい面や、地域の昔遊び名人の確保など課題は残る。今後継続していくために、幅広く他団体や若い世代との連携・協力を検討。	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・地域包括支援課のフレイル予防についてのアンケートをてるぼサロンで行い、サロン参加者の健康に関する調査を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ **地域連携の強化** ～地域における福祉課題の把握と対応～	**・地域ケア拠点の充実** **※拠点の機能強化** **・相談員会議の充実** **※相談機能の強化** **※個別ケースの検討** **・地域ケアシステム推進連絡会の充実** **※地域における福祉課題の共有** **※団体間・関係機関との連携・協働**	・「ギャラリー展」-地域の方の写真、ペット写真展、似顔絵、水彩画、書道や真間小、須和田の丘支援学校の作品など毎月替わりで展示をした。ギャラリー展をきっかけに来所される方も増えた。 ・「西部地区社協交流会（真間、市川第一、市川第二）」を開催し、活動拠点の見学やグループワークを通して、他地区の活動状況や、地域によって様々な課題があることがわかった。 ・「地域ケア推進連絡会」を年に３回開催し、自治会、民生委員、関係機関等との情報共有や地域連携を図っている。 ・地域ケア真間「よってこ」をもっと地域に知ってもらうために、見学会を開催し、日々の活動内容や、自治会との関わりについて説明し理解を深めた。 ・「PRの強化」- 地区社協独自のホームページの設置・随時更新を行い、QRコードを作成し利用しやすくなった。また広報誌を年２回発行しPRを行っている。 ・「人材確保」- 新たな相談員を増やすには、ほぼボランティアの今の報酬では、新規の相談員の確保は困難。２年前より行政、社協へ強く要望している。 ・「相談員会議」を毎月開催し、ケース検討や、相談員同士の情報共有に努めた。 ・「アンケートの実施」- よってこ相談員を対象に、来年度への意向確認や事業について調査をした。結果を踏まえ今後の方向性を探る。 ・真間地区自治会連合会自主防災訓練に参加し地域連携を図った。 ・真間小学校区防災拠点協議会避難所運営訓練に参加。	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・相談員研修に関する講師の調整を行った。 ・個別ケースについて相談に応じ専門機関へ繋いだ。 ・地域ケア会議に参加し、関係機関との連携を図った。 ・高サポ管理者・SCと定期的に会議を開催し連携を図った。 ・西部地区社協交流会を通じて、市川第一・市川第二地区との情報交換を行い、各地区の取り組みや課題を共有した。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ **地域で行いたい新たな取り組み** ～新規事業や新たな提案～	**・新規地区社協事業** **・他団体との共催事業** **・他団体の応援・育成事業**	・「福祉教育」- 真間小学校３年生に車イス体験、アイマスク体験を行い学校教育を通じて地域連携を図った。 ・社会資源の発掘と他団体との連携。	・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。	・真間小学校3年生を対象とした福祉教育について、学校や地域と連携し、車イス体験・アイマスク体験の実施支援を行った。	・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・お互いさま事業の具体化 ・お互いさま事業の実施状況 ・お互いさま事業の充実	【お互いさま事業】 ・会議において、地区内の困りごとを抱えた方のケースについて共有することができた。 【課題】 ・地区内で、具体的にどのようなことに困っているのか実情を把握することが必要である。 ・他地区の取り組みを参考に、八幡地区内での「お互いさま事業」の実施に向けて、方向性を協議する。	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業について、他地区の実施状況や取り組み事例を会議等で共有した。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	・てるぼサロンの充実 ・地区社協事業の充実 ・担い手の確保 ・活動の場の確保	【てるぼサロン・地区社協事業について】 ・民間企業（メガロス等）や学校と協働し、地域のつながりや多世代交流を意識した事業を実施することができた。 ・福祉講演会「鉄道の駅とわが街 八幡地域 」では、男性の参加が多く、その他の歴史（水害、ボロ市等）へも関心を示す住民がいることがアンケートより分かった。参加者へ地区社協事業のＰＲを行うことができた。 ・健康体操の参加者の方で事業継続へ向け協力していただけるボランティアが定着しつつあり、てるぼサロン化へ向け検討が進んでいる。 ・「たのしむサロン」の継続にあたり、市川社協登録ボランティアに依頼し、チラシ作りや買い出しの協力者を増員した。 【課題】 ・今年度の各事業内容について検証し、見直しを行う。 ・民間企業（メガロス等）や学校等と協働し、今後も継続して事業を企画・実施していく。 ・小・中学校と連携し、地域との交流の機会をもつ。 ・健康体操のサロン化、開催場所の増設を検討する。 ・地区社協事業に新規参加者を増やすための工夫をする（HPに写真や動画を活用）	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・他地区での事業・活動について情報共有を行った。 ・運営に課題があるサロンに対して、継続できるように働きかけた	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	・地域ケア拠点の充実 ※拠点の機能強化 ・相談員会議の充実 ※相談機能の強化 ※個別ケースの検討 ・地域ケアシステム推進連絡会の充実 ※地域における福祉課題の共有 ※団体間・関係機関との連携・協働	【地域ケア拠点の状況】 ・地域ケア拠点は月～金10～16時で開所している。 ・相談員会議が2ヵ月に1回定期開催している。 ・てるぼオアシス（ウォーターサーバー）の設置。 ・令和7年度の合計件数 電話件数：275件 来所者数：1221名 相談件数：1件（電話0・来所1） 【地域ケアシステム推進連絡会の開催】 ・地域ケアシステム推進連絡会を年6回開催している。 ・地域住民（自治会、民生委員、子ども会、高齢者クラブ等）のほか、行政・高齢者サポートセンター・市社協が参加している。 【地域連携の強化】 ・地区内の横のつながりの連携の強化。 【課題】 ・独居高齢者が増加している。独居高齢者をどのように地域で見守っていくか仕組みづくりが必要である。 ・地区活動を推進していくうえで、福祉委員研修の機会をつくる。	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・個別ケースの対応への助言・支援を行った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・SCとの意見交換会を定期的に開催し連携を図った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ 地域で行いたい新たな取り組み ～新規事業や新たな提案～	・新規地区社協事業 ・他団体との共催事業 ・他団体の応援・育成事業		・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。		・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・お互いさま事業の具体化 ・お互いさま事業の実施状況 ・お互いさま事業の充実	**【お互いさま事業】** ・令和7年度の実績 コーディネーター：3名、協力員： 26名 利用登録者：1名(東菅野地区) 主な活動内容：ゴミ出し ・購入した利用券は払い戻しすることができるようになった ・福祉委員は、本人の意思で協力員に登録できるようになった ・協力員は、利用者から利用券を受領後、年度内までに事務所に持参することになった **【課題】** ・依頼があった利用者の近隣に登録している協力者がいない	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業について、他地区の実施状況や取り組み事例を会議等で共有を行った。 ・各会議にて地域の困りごとやニーズの把握に努めた。 ・必要に応じ個別ケースを専門機関へのつなぎを行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	・てるぼサロンの充実 ・地区社協事業の充実 ・担い手の確保 ・活動の場の確保	**【てるぼサロン・地区社協事業について】** ・一般サロン5ヶ所・子育てサロン3ヶ所を開催 ・菅野西自治会館サロン（囲碁・将棋）継続 ・ナグさん体操サロン（高齢者体操）継続 ・「東菅野・菅野・須和田オリンピック」は、大人137名、子ども145名が参加された →今年度から各グループを数字で振り分け、参戦するチームを自身で選べるようになった ・「ふれあい快食会」は、開催日3日間、開催場所3か所で実施し、52名が参加した。 →紙飛行機体験をプログラムに入れた ・福祉委員研修を1回実施した ・広報誌を年２回自治会を通して全戸配布 **【課題】** ・サロンの数が減少傾向 ・「東菅野・菅野・須和田オリンピック」は、当日の運営方法の見直し ・「ふれあい快食会」は、参加申し込みの流れを各自治会と再認識する	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業について、相談・調整・運営支援を行った。 ・地域の居場所や活動について情報共有を行い、地域住民の参加やつながりづくりを支援した。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	・地域ケア拠点の充実 ※拠点の機能強化 ・相談員会議の充実 ※相談機能の強化 ※個別ケースの検討 ・地域ケアシステム推進連絡会の充実 ※地域における福祉課題の共有 ※団体間・関係機関との連携・協働	**【地域ケア拠点の状況】** ・地域ケア拠点が(火)～(金)10時～16時で開所されている ・相談員が2人増員し、3人辞任した **【地域ケアシステム推進連絡会の開催】** ・地域ケアシステム推進連絡会を年４回(1/3カ月)開催 ・地域ケアシステム推進連絡会では、地域住民（自治会、民生委員会、子ども会）の他、行政・市社協・高齢者サポートセンターが参加している **【地域連携の強化】** 各会議に行政関係、社協、高齢者サポートセンター、てるぼサロンの主催者等の関係機関に参加していただき情報共有・連携を図った **【課題】** ・相談員間で相談内容の共有化を図る ・会議に欠席された自治会との情報共有の見直し ・地域ケア拠点の機能を周知していく	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・地域ケアシステム推進連絡会や相談員会議に参加し、地域課題や個別ケースについて情報共有を行った。 ・個別相談に対応し、必要に応じて関係機関や地域活動につなぐなど、継続した支援を行った。 ・関係機関との連携を図り、地域の福祉課題の把握に努めた。 ・自治会との連携強化を目的に広報誌の配布に協力し、自治会関係者とのコミュニケーションを図るとともに、地域課題の把握に努めた。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ 地域で行いたい新たな取り組み ～新規事業や新たな提案～	・新規地区社協事業 ・他団体との共催事業 ・他団体の応援・育成事業		・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。		・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・お互いさま事業の具体化 ・お互いさま事業の実施状況 ・お互いさま事業の充実	【お互いさま事業】 ・令和７年度の実績 コーディネーター：５名、協力員：３１名、 利用登録者：１１名、活動回数：２２７回 主な活動内容：買い物代行、健康増進支援（卓球相手）、草むしりなど ・自治会を通じてのチラシ配布などの周知活動を行う。依頼件数は増えている ・コーディネーター会議を毎月開催。 ・「協力員養成講座」を開催。２２名参加。お互いさま事業についての活動中におけるルール等再確認する。グループワークの実施、地域課題の抽出等行う 【課題】 ・お互いさま事業の依頼が増加する中で、地域ケア拠点が休みの月曜日に連絡調整が行えないことがあり、業務に支障をきたす場面があった	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・毎月開催のコーディネーター会議に参加し情報共有を行い、活動に対しての助言を行った。 ・必要に応じ個別ケースの専門機関との橋渡しをおこなった。 ・協力員交流会に参加し安心して活動できるように情報交換を行った。 ・新規ケースにはコーディネーターと共に訪問を行った。 ・他地区の状況の共有を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	・てるぼサロンの充実 ・地区社協事業の充実 ・担い手の確保 ・活動の場の確保	【てるぼサロン・地区社協事業について】 ・一般サロン3ヶ所を開催。 ・コロナ禍に開催できなかった「親子クッキングスクール」が曽谷公民館にて対面で開催できた。申込者が多く、午前・午後の２部制で実施。午前２０名、午後１６名。計３６名参加 ・福祉委員研修会が実施され、福祉に対する見識を深めることができた ・ふれあいの集いを４ヵ所で開催し、多くの方に参加していただけた。 【課題】 ・コロナ前に比べてサロン数が減少。集える場所が少なく、新規サロンの必要性を感じた	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・他地区での事業・活動について情報共有を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	・地域ケア拠点の充実 ※拠点の機能強化 ・相談員会議の充実 ※相談機能の強化 ※個別ケースの検討 ・地域ケアシステム推進連絡会の充実 ※地域における福祉課題の共有 ※団体間・関係機関との連携・協働	【地域ケア拠点の状況】 ・火～金の１０時～１６時で開所 ・曽谷公民館高齢者集会室前ホールにおいててるぼサロンや相談スペース確保のため、要望書を市川市に提出。 【地域ケアシステム推進連絡会の開催】 ・地域ケアシステム推進連絡会を１回開催 【地域連携の強化】 ・各会議に行政関係、社協、高齢者サポートセンター、保健センター等の関係機関に参加していただき情報共有・連携を図った 【課題】 ・地域ケア拠点のスペースは確保できたが、曽谷公民館より利用実績等を理由に撤去を求められたため、スペースを明け渡すこととなった。	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・個別ケースの対応への助言・支援を行った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・エリア会議に参加し地域の情報共有を行い、関係機関との連携を図った。 ・SCとの意見交換会を定期的に開催し連携を図った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ 地域で行いたい新たな取り組み ～新規事業や新たな提案～	・新規地区社協事業 ・他団体との共催事業 ・他団体の応援・育成事業	・ふれあい芸術祭の開催について検討を行っている	・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。		・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・お互いさま事業の具体化 ・お互いさま事業の実施状況 ・お互いさま事業の充実	【お互いさま事業】 ・他地区の情報を共有する機会を持てた ・担い手の確保が課題	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業について、他地区の実施状況や取り組み事例を会議等で共有した。 ・各会議にて地域の困りごとやニーズの把握に努めた。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	・てるぼサロンの充実 ・地区社協事業の充実 ・担い手の確保 ・活動の場の確保	【てるぼサロンの状況】 ・すべてのサロンが通常開催。 ・口コミで新しい参加者が増えている 【地区社協事業の状況】 ・「敬老友愛訪問」「あいさつ運動」「地域ふれあいグラウンドゴルフ大会」「寄り合い処で体操」等、地域の多くの方の参加できる企画を実施。 ・福祉講演会で知的障害のある方の母親の団体「キャラバン隊『空』」から講演を聞き、障害のある方に対する理解が深まった ・広報誌「あおぞら」を２回発行 【課題】 ・てるぼサロンは男性の参加者が少ない ・子育てサロンは、対象児童の年齢を保育園等が受け入れるようになったためか参加人数が減少している ・地区社協事業は高齢者が中心で、若い参加者が少ない ・担い手が少ない	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業について、相談・調整・運営支援を行った。 ・地域の困りごとを聞き、それに応じて福祉講演会の講師の調整を行った	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	・地域ケア拠点の充実 ※拠点の機能強化 ・相談員会議の充実 ※相談機能の強化 ※個別ケースの検討 ・地域ケアシステム推進連絡会の充実 ※地域における福祉課題の共有 ※団体間・関係機関との連携・協働	【地域ケア拠点の状況】 ・毎日１４時から「寄り合い処で体操」を実施し、ケアへの来所者増加に繋がっている。広報誌「あおぞら」をみて、参加したという方もいた ・高齢者サポートセンター、コミュニティソーシャルワーカーによる出張相談をそれぞれ月１回行っている ・車いすの貸出が増加している 【地域ケアシステム推進連絡会】 ・地域ケアシステム推進連絡会を１回開催 【地域連携の強化】 ・宮久保小学校４年生の福祉教育、防災フェスタへ参加し、学校との連携を図った 【課題】 ・他団体と情報共有する機会がもっとほしい ・地域ケアシステム推進連絡会の開催回数を増やす必要性を感じる ・小学校とは、もう少し交流する機会が持てれば良かった	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・役員会・相談員会議等に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・地区内の小学校の福祉教育に福祉委員と参加した ・SCとの意見交換会を定期的に開催し連携を図った。 ・エリア会議に参加し地域の情報共有を行い、関係機関との連携を図った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ 地域で行いたい新たな取り組み ～新規事業や新たな提案～	・新規地区社協事業 ・他団体との共催事業 ・他団体の応援・育成事業	・地区社協のことを地域の方にもっと理解してもらうための取り組みが必要	・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。		・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・お互いさま事業の具体化 ・お互いさま事業の実施状況 ・お互いさま事業の充実	**【お互いさま事業】** ・令和7年４月より、２カ所の自治会にてモデル事業として開始する。 **【課題】** ・運営方法の確立（複雑で負担大） ・自治会内で、困りごとを抱えた方の把握 ・コーディネーターや協力員の確保 ・協力員を活動につなげる ・関係機関との連携、ニーズの把握	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業の運営方法について協議し、地区社協内で共有した。 ・高齢者サポートセンターやケアマネに対し、研修等を通じて事業の周知を行った ・圏域内の個別ケース等からみえる地域課題について、会議で報告し情報共有を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	・てるぼサロンの充実 ・地区社協事業の充実 ・担い手の確保 ・活動の場の確保	**【てるぼサロン】** ・チラシ配布により、参加者を増やすことができた ・住民のニーズに即したサロン内容で開催できた ・サロン活動で困った際のサポート体制の確立 **【地区社協事業】** ・「福祉委員の集い」で外部講師による、障がい者福祉の勉強会を行った ・多世代の方々に参加いただき、地域住民の交流の機会となった **【課題】** ・サロンの開催場所に偏りがある ・各サロンの状況把握と周知を引き続き行う必要がある ・イベントの受付方法について検討する ・世代間交流ができる事業を引き続き検討する ・広報を発行し、地区社協、サロンの周知を行う	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・新規サロン立ち上げの支援を行った。 ・サロンを継続するため、他機関と連携し、新たな担い手の確保に努めた。 ・地区社協事業の運営のサポートを行い、地域住民の交流の機会を設けた。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	・地域ケア拠点の充実 ※拠点の機能強化 ・相談員会議の充実 ※相談機能の強化 ※個別ケースの検討 ・地域ケアシステム推進連絡会の充実 ※地域における福祉課題の共有 ※団体間・関係機関との連携・協働	【地域ケア拠点の状況】 ・「てるぼオアシス（ウォーターサーバー」の設置により、地域住民等の来所者が増えた ・地域ケアが地域の寄り合い処として機能している ・相談者に対して、相談員が適切に関係機関と連携を図っている ・地域ケアを活用し、専門職による出張相談会を開催 **【地域ケアシステム推進連絡会の開催】** 各会議に行政、社協、高齢者サポートセンター等の関係機関に参加していただき情報共有・連携を図った **【課題】** ・地域ケアの役割について周知する ・相談ケースについての対応方法 ・地域ケアの活用について検討 ・地域課題を情報共有できるような開催方法の検討	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・相談員会議では拠点の実情把握等、相談員との連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・高サポ管理者・SCと定期的に会議を開催し連携を図った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ 地域で行いたい新たな取り組み ～新規事業や新たな提案～	・新規地区社協事業 ・他団体との共催事業 ・他団体の応援・育成事業		・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。		・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・お互いさま事業の具体化 ・お互いさま事業の実施状況 ・お互いさま事業の充実	【お互い様事業について】 ・地域ケア推進連絡会にて、他地区の状況を共有した	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業について、他地区の実施状況や取り組み事例を会議等で共有した。 ・各会議にて地域の困りごとやニーズの把握に努めた。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	・てるぼサロンの充実 ・地区社協事業の充実 ・担い手の確保 ・活動の場の確保	【てるぼサロンについて】 ・国分地区内で７か所（ほっとサロン、ハッピーサロン♡いなこし、サロン風の谷、サロン太陽根古屋、サロントマト、サロンセブン、サロン平川なごみ）実施できた 【地区社協事業について】 ・史跡巡り健康ウォークやふれあいグラウンドゴルフ大会を開催し、自治会と連携し広報周知することで参加者を募った。 ・国分小学校の体育館にてふれあいの集いを開催。地域で活動している団体に演目の発表をしてもらい地域交流の貴重な場となった。また、福祉委員同士の連携を深められた。 ・地区社協便りを年２回発行し、地区社協事業や地域の活動などを掲載し活動の周知を行った。 【課題】 ・男性の参加者が少ない ・グラウンドゴルフ時に体調を崩した方がおり、健康管理への配慮が必要	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・他地区での事業・活動について情報共有を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	・地域ケア拠点の充実 ※拠点の機能強化 ・相談員会議の充実 ※相談機能の強化 ※個別ケースの検討 ・地域ケアシステム推進連絡会の充実 ※地域における福祉課題の共有 ※団体間・関係機関との連携・協働	【地域ケア拠点について】 ・火～金の週４回開所した ・地区社協便りを年２回発行しＰＲに努めた ・年２回、相談員会議を実施した 【地域ケアシステム推進連絡会のについて】 ・年2回、地域ケアシステム推進連絡会を実施した 【地域の福祉課題把握について】 ・役員会を毎月開催し、地域の課題について話し合った ・各会議に行政関係、市社協、高齢者サポートセンター等の関係機関に参加してもらい情報共有・連携を図った ・稲越小学校、中国分小学校と福祉教育で連携を図った。また国分小学校とはふれあいの集いの際に連携を図った 【課題】 ・地域ケアに関しては、周知が必要	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・個別ケースの対応への助言・支援を行った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・エリア会議に参加し地域の情報共有を行い、関係機関との連携を図った。 ・SCとの意見交換会を定期的に開催し連携を図った。 ・地区内の小学校の福祉教育に福祉委員と参加した	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ 地域で行いたい新たな取り組み ～新規事業や新たな提案～	・新規地区社協事業 ・他団体との共催事業 ・他団体の応援・育成事業	・「国分川鯉のぼりフェスティバル」に参加し、車いすの体験や地域ケアの宣伝活動を行った	・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。		・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・お互いさま事業の具体化 ・お互いさま事業の実施状況 ・お互いさま事業の充実	【お互いさま事業】 ・新規事業として「ふれあい電話訪問」を今年度より実施。事業を進める中で、地域のニーズ把握に努めている。	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・ふれあい電話実施に向けての環境整備を行った	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	・てるぼサロンの充実 ・地区社協事業の充実 ・担い手の確保 ・活動の場の確保	【てるぼサロン】 ・新規開設が２か所、閉所が２か所あった。現在一般サロン７か所実施している ・新たに開設を希望する人・団体があり、来年度の開所に向けて準備を進めている ・自治会、民生委員児童委員の協力のもと、毎月サロンの開催周知を実施（掲示、回覧） 【地区社協事業】 ・新規事業として「ふれあい電話訪問」を今年度より実施。 ・ふれあいの集いの開催 【課題】 ・地域が広範囲のため、サロン・地域ケア拠点に行けない住民がいる	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・新規てるぼサロン立ち上げに向けての支援を行った ・他地区での事業・活動について情報共有を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	・地域ケア拠点の充実 ※拠点の機能強化 ・相談員会議の充実 ※相談機能の強化 ※個別ケースの検討 ・地域ケアシステム推進連絡会の充実 ※地域における福祉課題の共有 ※団体間・関係機関との連携・協働	【地域ケア拠点】 ・相談員連絡会・地域ケア部会を年6回実施 ・新規事業「ふれあい電話訪問」を地域ケア拠点にて実施 ・夏休みに、地域ケアの拠点を利用して「駄菓子屋」を開催。多くの子どもが来所した 【地域ケア推進連絡会】 ・地区が広範囲のため、地域ケア推進連絡会を３ブロックに分かれて開催 【地域連携の強化】 ・各会議に行政関係・社協・高齢者サポートセンター等の関係機関が参加し情報共有・連携を図った 【課題】 ・地域ケア拠点については一定の周知が図られているが、さらなる認知向上に向け、引き続き積極的にPRしていく ・各会議の場にて地域課題の把握・共有を行い、地区社協の新たな事業展開について検討を行う	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・個別ケースの対応への助言・支援を行った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・エリア会議に参加し地域の情報共有を行い、関係機関との連携を図った。 ・SCとの意見交換会を定期的に開催し連携を図った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ 地域で行いたい新たな取り組み ～新規事業や新たな提案～	・新規地区社協事業 ・他団体との共催事業 ・他団体の応援・育成事業	・「国分川鯉のぼりフェスティバル」に参加し、車いすの体験や地域ケアの宣伝活動を行った	・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。		・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ 「お互いさま事業」の実施 ～身近な地域の支え合い～	・お互いさま事業の具体化 ・お互いさま事業の実施状況 ・お互いさま事業の充実	**【令和7年度の成果・課題】** ・お手伝い事業として実施。ふれあいルーム（地域ケア）を窓口とし、令和７年度は３件の依頼あり ・困りごとや課題に対し、事業だけでの対応ではなく、各自治会や民生委員に協力を依頼するなどして、解決を目指す。 **【今後に向けて】** ・地域にある福祉課題を、地域関係者や関係団体が、理解し解決に向けて動いていくための意識を高めていく	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・会議等において実施地区の状況、また圏域内の個別ケースからみる地域課題を情報共有した。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ てるぼサロン および 地区社協事業の拡充 ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	・てるぼサロンの充実 ・地区社協事業の充実 ・担い手の確保 ・活動の場の確保	**[てるぼサロン]** ・令和７年度より「子育てサロン（みつばちキッズ）」がスタート。 ・子育てサロンの参加者がふれあいルームに立ち寄るなど、 相互交流が増えている。 ・「ふれあいルーム（てるぼサロン）」にて月１回 ポッチャを開催。 ・2ヶ月に1回、セミナー（勉強会等）も実施。 **【地区社協事業】** ・「みつば食堂」「公民館文化祭（バザー）」 「みつば祭り（共催）」「防災訓練（共催）」 「ふれあいルーム（地域ケア信篤・二俣）」 「地域ケア推進連絡会」「お手伝い事業」　…等を実施 →事業・取り組みを広報し、多くの方に知らせていく ことが大切（SNSの活用など）	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・てるぼサロン、地区社協事業の相談・調整・運営支援を行った。 ・新規サロンの立ち上げに向け支援を行った。 ・地区社協事業の実施にあたり、地区内の学校や施設等と協働できるよう、関係構築を図った。 ・サロン関係者からの相談を受け、周知活動の支援を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ 地域連携の強化 ～地域における 福祉課題の把握と対応～	・地域ケア拠点の充実 ※拠点の機能強化 ・相談員会議の充実 ※相談機能の強化 ※個別ケースの検討 ・地域ケアシステム推進連絡会の充実 ※地域における福祉課題の共有 ※団体間・関係機関との連携・協働	**【地域ケア】** ・令和７年度の合計件数 電話件数：146件 来所者数：1,485名 相談件数：8件 ・てるぼオアシス（ウォーターサーバー）の設置 →てるぼサロン参加者の親子なども 「ふれあいルーム」に立ち寄る契機になる **【地域ケアシステム推進連絡会】** ・２ヶ月に１回開催 →新たな参加団体が加わる。今後も多くの方や関係団体 が参画し、情報共有・意見交換の場としていきたい **『相談員会議】** ・毎月開催 ・ふれあいルームに寄せられた相談・訪れた方の会話から、 必要な関係機関につなげるなどの仕組みづくり →対応の検証と充実を引き続き目指す **☆引き続き、事業や地域の課題について、 意見交換や情報共有の場としての資質向上を目指す**	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・相談員会議では拠点の実情把握等、相談員との連携を図った。 ・ふれあいルームで相談員が把握した個別ケースについて、関係機関につなげる等支援を行った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に参加し、地域の課題把握、情報の共有を行った。 ・高サポ管理者・SCと定期的に会議を開催し連携を図った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ 地域で行いたい新たな取り組み ～新規事業や新たな提案～	・新規地区社協事業 ・他団体との共催事業 ・他団体の応援・育成事業	**①買い物に困難な人の増加** →移動販売（移動スーパー）の実施。今後も実施場所について検討。 **②交通の便に困難な人の増加** →地区内ビジネスホテル（東横INの送迎バス）に協力依頼・連携の実現。 デマンド型タクシーの協力依頼・実現。その他、地域実情把握と行政・企業・関係機関等への要望	・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。	・買い物や移動についての地域課題に対して、実情の把握に努めると同時に、行政や関係機関等へ住民の意見や要望を収集し共有した。	・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

第５期わかちあいプラン　振り返りシート（令和7年度）

行徳地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ **「お互いさま事業」の実施** ～身近な地域の支え合い～	**・お互いさま事業の具体化** **・お互いさま事業の実施状況** **・お互いさま事業の充実**	・お互いさま事業が本格実施となった 令和8年3月末の実績 協力員2名・利用登録者2名 活動回数：106回 【課題】 ・事業の周知方法の検討が必要	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・お互いさま事業本格実施に向け支援を行った。 ・個別ケースの訪問を行い、地域につなげた。 ・協力員の調整を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ **てるぼサロン** **および** **地区社協事業の拡充** ～“ふれあい”や “つながり”を育むために～	**・てるぼサロンの充実** **・地区社協事業の充実** **・担い手の確保** **・活動の場の確保**	【てるぼサロン】 ・新規サロン：１サロン新設された 【地区社協事業】 ・行徳ふれあいまつりでは様々な団体に協力を 呼びかけ事業の充実を図った ・「つながろう会」「福祉委員バス研修」を開催し、福祉委員の交流を図ることができた。 【課題】 ・サロン活動の情報共有や周知が十分でない。	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・新規サロン立上げの支援を行った ・ベルマーク集計V活動者を募り、地域の協力者を確保した	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ **地域連携の強化** ～地域における 福祉課題の把握と対応～	**・地域ケア拠点の充実** **※拠点の機能強化** **・相談員会議の充実** **※相談機能の強化** **※個別ケースの検討** **・地域ケアシステム推進連絡会の充実** **※地域における福祉課題の共有** **※団体間・関係機関との連携・協働**	【地域ケア拠点機能の強化】 ・来所しやすい環境を整えるため行政へスロープ設置を要望し、設置が完了したことで車いす利用者等の来所ができるようになった。 ・公園利用者にてるぼオアシス（ウォーターサーバー）の呼びかけを行い、拠点利用の強化を図った。 【地域ケアシステム推進連絡会】 ・年4回開催し、団体間の情報交換を通じて地域連携の推進を図った。 【相談員会議等】 ・年4回開催し、各サロンの活動状況などの情報共有を行った。 【課題】 ・相談員が不足しているブロックがある ・会議等への参加関心を高めるため、関係づくりが必要。	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・てるぼオアシス設置のPRのため、公園利用者等へ声掛けを行った。 ・関係機関への会議開催について 呼びかけ・調整を行った。 ・「line」アプリを活用し、グループlineにて会議出欠確認や、情報共有の支援を行った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ **地域で行いたい新たな取り組み** ～新規事業や新たな提案～	**・新規地区社協事業** **・他団体との共催事業** **・他団体の応援・育成事業**	【新規事業】 ・拠点奥に空き部屋が発見され、、来年度以降活用できるように行政に働きかけを行った。 【課題】 ・拠点を利用した更なる地域活動の検討	・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。	・拠点奥の部屋について、担当課へ調整を行った。	・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

第５期わかちあいプラン　振り返りシート（令和7年度）

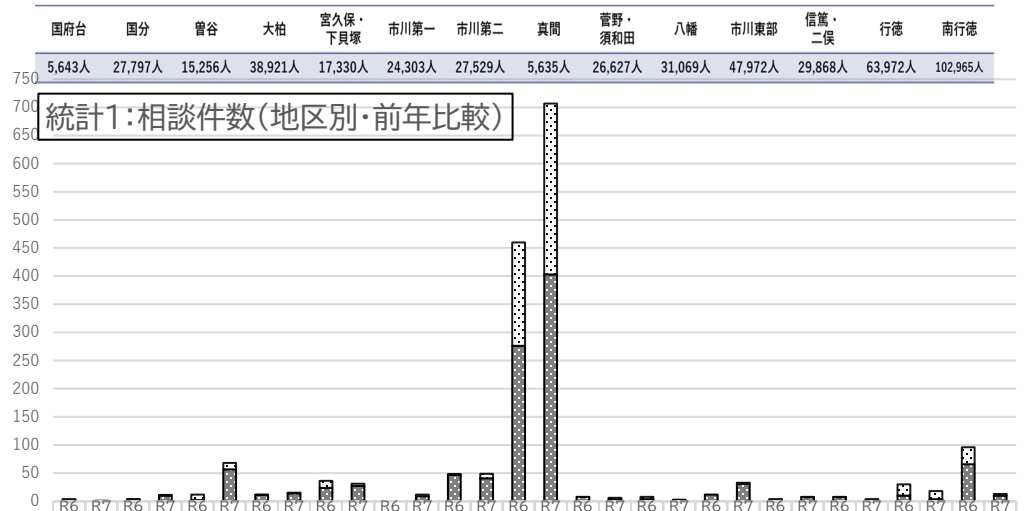
南行徳地区社会福祉協議会

地区別計画テーマ	キーワード	地域の取り組み	いちかわ社協の取り組み	社協地区担当者、CSWの取り組み	行政（市川市）の取り組み
テーマ１ **「お互いさま事業」の実施** ～身近な地域の支え合い～	**・お互いさま事業の具体化** **・お互いさま事業の実施状況** **・お互いさま事業の充実**	・買い物支援など日常生活の困りごとを通じて、地域住民同士の見守りやつながりづくりにもつながっている ※令和８年３月末現在の実績 協力員　63名 利用登録者　39名 活動回数　530回 【課題】 ・地域住民への周知が十分とは言えず、事業の認知度向上が必要 ・活動を調整するコーディネーター役の担い手が不足している	・コーディネーターに対する活動助成を行った。	・新規ケース等への訪問支援を行った。 ・個別ケースへの対応および支援を行った。 ・コーディネーターが欠員となっているブロックについて、協力員の新規登録を進めるとともに、コーディネーターの選任・登録に向けた調整を行った。 ・市と共催したボランティア講座において、お互いさま事業の説明を行い、協力員の確保につなげた。 ・事業の周知活動を支援した。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ２ **てるぼサロン** **および** **地区社協事業の拡充** ～“ふれあい”や“つながり”を育むために～	**・てるぼサロンの充実** **・地区社協事業の充実** **・担い手の確保** **・活動の場の確保**	【てるぼサロン】 ・地区内25カ所でサロン開催 ・新規サロン1カ所が立ち上がり、地域の交流の場が広がった 【地区社協事業】 ・「ふれあい交流会」は地区内すべての小学校（７校）と交流することができた ・福祉委員バス研修を開催し福祉委員同士の交流と学びの機会をつくった ・ふれあい配食を地区民協の協力により、実施することができた （令和8年度配食と共に行徳高校生徒によるメッセージカードをつけて配付したい） ・富美浜ふれ愛フェスティバル、あいあい秋まつりなど地域行事へ参加協力を行った 【課題】 ・サロンや地区社協活動について、地域住民への周知がまだ十分ではない	・事業助成金とサロン助成金を各地区社協に対して行った。 ・サロン活動支援講座、てるぼサロンまつりを実施した。	・新規サロンの立ち上げに向け支援を行った。 ・既存サロンの運営について支援を行った。	・高齢者のちょっとした困りごとを支援する人を養成し、担い手確保を促進するため、社協のボランティア養成講座とコラボした「生活支援サポーター養成研修」を実施した。修了者のうち、実際にボランティア活動に従事するようになった受講者がおり、地域での支えあい活動の醸成につながった。
テーマ３ **地域連携の強化** ～地域における福祉課題の把握と対応～	**・地域ケア拠点の充実** **※拠点の機能強化** **・相談員会議の充実** **※相談機能の強化** **※個別ケースの検討** **・地域ケアシステム推進連絡会の充実** **※地域における福祉課題の共有** **※団体間・関係機関との連携・協働**	【地域ケア拠点機能の強化】 ・てるぼオアシス（ウォーターサーバー）を設置し、来所者が立ち寄りやすい環境づくりを行った 【地域ケアシステム推進連絡会】 ・年11回開催し、地域課題や情報の共有を行った 【相談員会議】 ・各拠点で受けた相談ケースの対応について協議し　、専門機関との情報交換を行った。 【課題】 ・一部エリアのブロック長・相談員の欠員がある ・会議欠席者への情報共有の工夫が必要 （令和８年度は自治会に地区の取り組みが伝わる資料を作成し理解を求めていきたい） ・関係者の参加意識を高める取り組みが必要	・相談員会議に出席して拠点の実情把握等、連携を図った。 ・地域ケアシステム推進連絡会に出席し地域との連携を図った。 ・社協に入った地域住民からの個別相談に対して、状況に応じて、地域で解決できないか相談・調整を行った。	・各会議に参加・助言を行った。 ・事業の様子などをわかりやすく共有できるよう、会議でプロジェクターを用いて写真を投影するなどして説明を行った。 ・会議での交流しやすい環境づくりの支援を行った。	・主に高齢者支援に関する地域課題の把握と解決に向けて、地域の多様な主体が参加する「地域ケア推進会議」を開催した。 ・相談のあった方に対し、生活支援・社会参加情報サイト「市川支え合いネット」や「きょういくところ」等を使い、地域活動の場を紹介した。 ・生活支援サービスを提供する事業者に対し、「市川支え合いネット」を周知し、登録を働きかけた。
テーマ４ **地域で行いたい新たな取り組み** ～新規事業や新たな提案～	**・新規地区社協事業** **・他団体との共催事業** **・他団体の応援・育成事業**	【新規事業】 ・子ども育成事業 ・千葉県福祉教育パッケージ指定（1年目） これらの取り組みを通して、子ども世代との交流を意識した活動を実施した 具体例 ・小学校からの依頼による福祉教育支援 ・ボランティア活動証明書の発行 ・小学6年生による自治会等への応援メッセージカード作成・配付 【今後】 ・地域の子ども達と地域活動をつなぐ取り組みを継続していく ・福祉教育パッケージ指定校と定期的な会議を実施する	・地区代表者連絡会で、他地区との情報交換を図るための働きかけを行った。	・地区社協と障がい者団体等が協働で行う交流イベントの支援を行った。（あいあい秋まつり） ・新規事業の取り組みについて会議等に参加し、準備等の支援を行った。	・新規事業の取り組みについて、会議等で情報共有を行った。

地域ケアシステム推進に関する統計資料

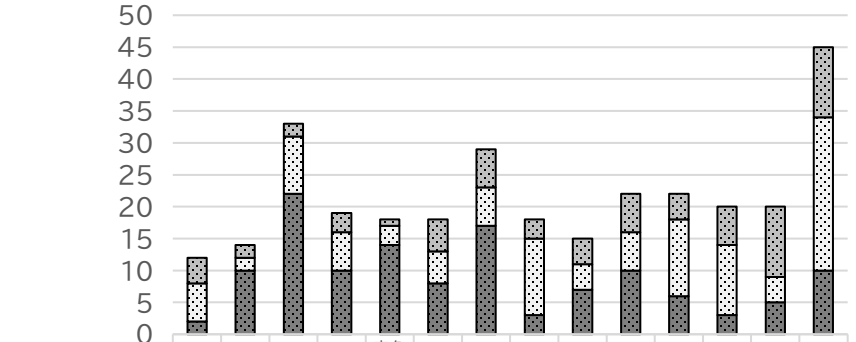
令和8年度第1回地区推進会議
令和8年11月10日(火)
資料3

統計1:相談件数(地区別・前年比較)



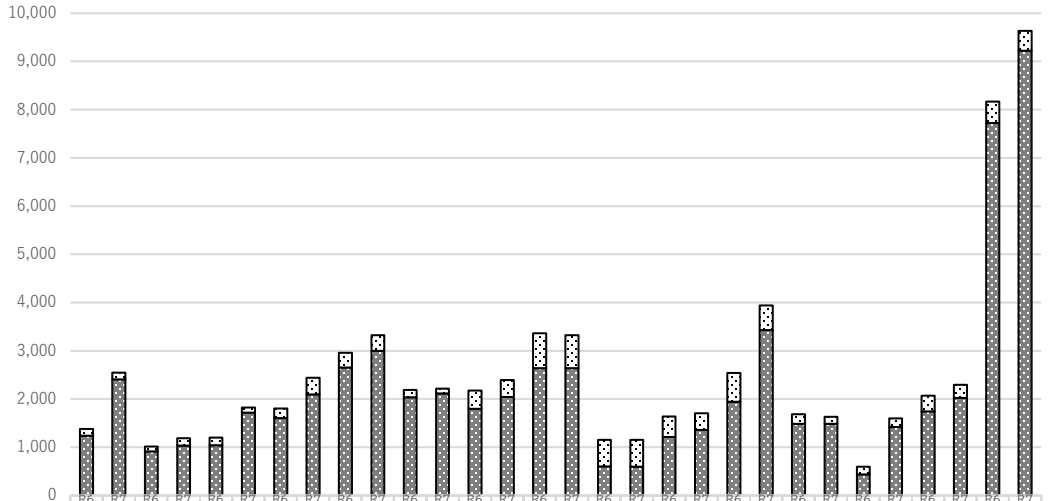
	国府台		国分		曽谷		大柏		宮久保・下貝塚		市川第一		市川第二		真間		菅野・須和田		八幡		市川東部		信篤・二俣		行徳		南行徳		南行徳第二	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
電話	2	0	1	1	10	11	1	1	12	4	0	3	1	8	184	304	0	2	4	0	0	2	3	1	1	3	20	14	30	3
来所	2	1	3	10	2	57	11	14	24	27	0	9	47	41	276	403	8	4	4	3	12	31	1	7	7	1	10	4	66	10

統計3:会議開催数(地区数)



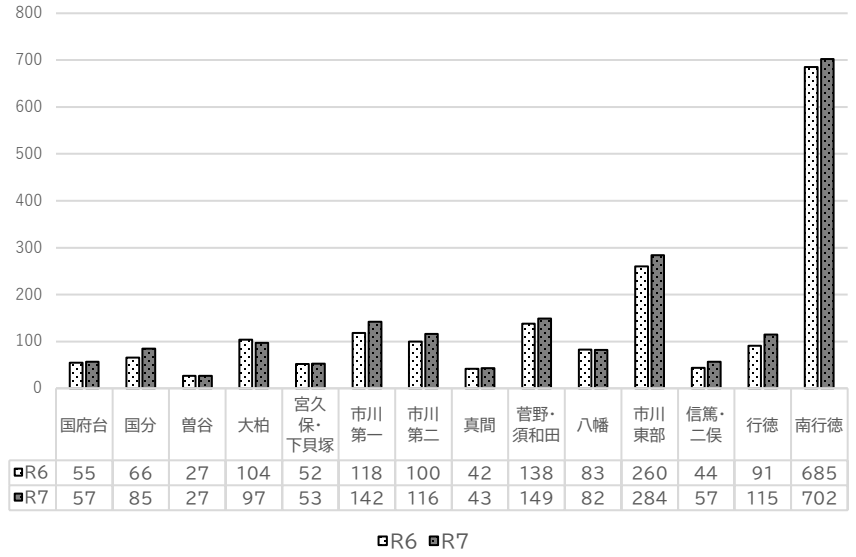
	国府台	国分	曽谷	大柏	宮久保・下貝塚	市川第一	市川第二	真間	菅野・須和田	八幡	市川東部	信篤・二俣	行徳	南行徳
地域ケア推進連絡会	4	2	2	3	1	5	6	3	4	6	4	6	11	11
相談員会議	6	2	9	6	3	5	6	12	4	6	12	11	4	24
その他会議	2	10	22	10	14	8	17	3	7	10	6	3	5	10

統計2:電話件数・来所人数(地区別・前年比較)



	国府台		国分		曽谷		大柏		宮久保・下貝塚		市川第一		市川第二		真間		菅野・須和田		八幡		市川東部		信篤・二俣		行徳		南行徳		南行徳第二	
	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7	R6	R7
電話	136	138	99	152	160	110	202	343	301	328	151	95	378	351	724	682	553	558	422	347	594	511	203	147	157	179	326	277	445	408
来所	1,24	2,40	912	1,03	1,04	1,71	1,60	2,09	2,65	2,99	2,03	2,11	1,80	2,04	2,63	2,63	600	594	1,21	1,35	1,94	3,42	1,48	1,48	440	1,41	1,74	2,02	7,72	9,22

統計4:サロン開催数(地区別・前年比較)



	国府台	国分	曽谷	大柏	宮久保・下貝塚	市川第一	市川第二	真間	菅野・須和田	八幡	市川東部	信篤・二俣	行徳	南行徳
R6	55	66	27	104	52	118	100	42	138	83	260	44	91	685
R7	57	85	27	97	53	142	116	43	149	82	284	57	115	702

問３	問1でご回答いただいたお困りごとを抱える方に対して、地域住民であるご自身ができることはありますか？（自由記入）

選択番号	内容

選択番号	内容

選択番号	内容

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

令和7年2月17日

地域ケアシステム推進連絡会　出席者各位

市川市　福祉部　地域共生課

各地区における地域課題に関する調査
協力のお願い

本アンケートについて

市川市では、各年度に２回地区推進会議を開催しており、地域課題の整理、検証を行っております。

本アンケートは、皆様が相談業務等を通じ、地域住民が日常生活で抱えていると思われる地域課題を調査し、市内全域の地域課題について整理し、今後の地区推進会議での議題や施策の検討を行ううえでの材料とさせていただくものです。

何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

【調査に関する連絡先】
市川市　福祉部　地域共生課
企画グループ
電話：047-712-8546

問１	相談等、日々の業務を通じて、あなたの地域の住民が抱えるお悩みで 特に多いと感じること(自分の地区の地域課題はこれだと感じること)を **<u>最大３つまで、</u>**□の中に○をつけてください。 回答者自身が感じる地域課題でも構いません。

□⑴自分や家族の健康や病気のこと

□⑵子育てに関すること

□⑶ヤングケアラー（※）に関すること

□⑷家族関係に関すること

□⑸生活困窮

□⑹認知症の方の徘徊等

□⑺空き家やゴミ屋敷

□⑻ひきこもり

□⑼ゴミ出し

□⑽買い物に行くことが困難

□⑾交通が不便

□⑿治安・防犯に関すること

□⒀老後のこと
（成年後見制度など）

□⒁就労に関すること

□⒂居場所に関すること

□⒃医療、福祉、介護に関する
専門職について

□⒄その他







※ヤングケアラーとは…

<u>家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者</u>

(例

・障がいや病気のある家族に代わり、買物などの家事や世話、見守りをしている。

・家族の代わりに幼い兄弟の世話をしている

・家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。

問２	問1でご回答いただいた内容について、具体的な事例をお聞かせください。

選択番号	内容

選択番号	内容

選択番号	内容

アンケート結果報告

令和8年度第1回地区推進会議
令和8年11月10日(火)
資料5

＜アンケートについて＞

アンケート概要

➢各地区における地域課題に関するアンケート
➢令和７年２月～６月の間で、各地区の地域ケアシステム推進会連絡会にて実施
➢１４地区２２９名より回答があった

アンケートの結果の活用

➢地区推進会議にて、各地域の課題を認識し、解決に向けた検討を行う
➢アンケートで回答の多かった課題を取り上げ、全４回（２年間）で検討していく
【第１回（令和７年度第１回地区推進会議）】
全体の総括　⑥ゴミ出し
【第２回（令和７年度第２回地区推進会議）】
①買い物に行くことが困難　⑤交通が不便
【第３回（令和８年度第１回地区推進会議）】
②自分や家族の健康や病気のこと　⑦老後のこと
【第４回（令和８年度第２回地区推進会議）】
③治安・防犯に関すること　④空き家やゴミ屋敷

＜アンケート結果＞

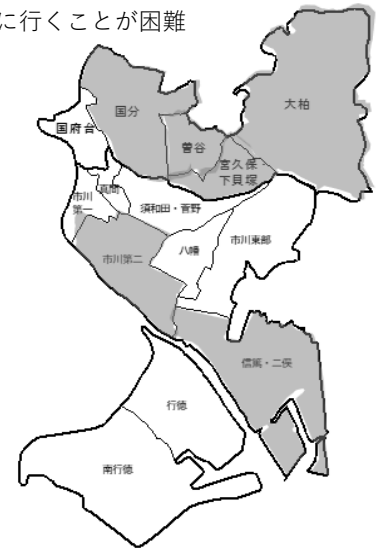
	国府台		国分		曽谷		大柏		宮久保・下貝塚		市川第一		市川第二		真間		菅野・須和田		八幡		市川東部		信篤・二俣		行徳		南行徳		全地区合計		
	人数	7人	人数	17人	人数	12人	人数	10人	人数	15人	人数	27人	人数	28人	人数	10人	人数	23人	人数	19人	人数	21人	人数	18人	人数	16人	人数	6人	人数	229人	順位
	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	内訳	回答率	
１．自分や家族の健康や病気のこと	2人	28.6%	**7人**	**41.2%**	4人	33.3%	2人	20.0%	**6人**	**40.0%**	6人	22.2%	1人	3.6%	**4人**	**40.0%**	5人	21.7%	**9人**	**47.4%**	3人	14.3%	3人	16.7%	2人	12.5%	**3人**	**50.0%**	**57人**	**24.9%**	②
２．子育てに関すること	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	3.7%	1人	3.6%	0人	0.0%	2人	8.7%	2人	10.5%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	6人	2.6%	
３．ヤングケアラーに関すること	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	10.0%	0人	0.0%	1人	3.7%	1人	3.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	1人	0人	0.0%	0人	0.0%	4人	1.7%	
４．家族関係に関すること	0人	0.0%	2人	11.8%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	7.4%	1人	3.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	5人	2.2%	
５．生活困窮	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	13.3%	1人	3.7%	4人	14.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	5.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	18.8%	1人	16.7%	12人	5.2%	
６．認知症の方の徘徊等	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	20.0%	6人	22.2%	3人	10.7%	1人	10.0%	0人	0.0%	4人	21.1%	1人	4.8%	1人	5.6%	**5人**	**31.3%**	1人	16.7%	25人	10.9%	
７．空き家やゴミ屋敷	**4人**	**57.1%**	**7人**	**41.2%**	4人	33.3%	2人	20.0%	3人	20.0%	**7人**	**25.9%**	2人	7.1%	0人	0.0%	**8人**	**34.8%**	**6人**	**31.6%**	**5人**	**23.8%**	0人	0.0%	3人	18.8%	0人	0.0%	**51人**	**22.3%**	④
８．ひきこもり	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	20.0%	1人	6.7%	1人	3.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	5.3%	0人	0.0%	2人	11.1%	2人	12.5%	0人	0.0%	9人	3.9%	
９．ゴミ出し	0人	0.0%	2人	11.8%	1人	8.3%	1人	10.0%	2人	13.3%	**8人**	**29.6%**	**10人**	**35.7%**	1人	10.0%	**6人**	**26.1%**	4人	21.1%	3人	14.3%	3人	16.7%	4人	25.0%	**2人**	**33.3%**	**47人**	**20.5%**	⑥
１０．買い物に行くことが困難	1人	14.3%	**9人**	**52.9%**	**6人**	**50.0%**	**3人**	**30.0%**	**8人**	**53.3%**	5人	18.5%	**6人**	**21.4%**	1人	10.0%	5人	21.7%	3人	15.8%	4人	19.0%	**4人**	**22.2%**	4人	25.0%	0人	0.0%	**59人**	**25.8%**	①
１１．交通が不便	1人	14.3%	4人	23.5%	**6人**	**50.0%**	**4人**	**40.0%**	1人	6.7%	2人	7.4%	**7人**	**25.0%**	2人	20.0%	3人	13.0%	2人	10.5%	**9人**	**42.9%**	**6人**	**33.3%**	1人	6.3%	0人	0.0%	**48人**	**21.0%**	⑤
１２．治安・防犯に関すること	**4人**	**57.1%**	4人	23.5%	2人	16.7%	**3人**	**30.0%**	2人	13.3%	5人	18.5%	5人	17.9%	2人	20.0%	**6人**	**26.1%**	**8人**	**42.1%**	4人	19.0%	**4人**	**22.2%**	**5人**	**31.3%**	**2人**	**33.3%**	**56人**	**24.5%**	③
１３．老後のこと	3人	42.9%	2人	11.8%	1人	8.3%	**4人**	**40.0%**	2人	13.3%	5人	18.5%	4人	14.3%	**3人**	**30.0%**	3人	13.0%	3人	15.8%	3人	14.3%	3人	16.7%	4人	25.0%	**2人**	**33.3%**	**42人**	**18.3%**	⑦
１４．就労に関すること	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	4.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	0.4%	
１５．居場所に関すること	1人	14.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	6.7%	4人	14.8%	1人	3.6%	1人	10.0%	1人	4.3%	3人	15.8%	0人	0.0%	2人	11.1%	2人	12.5%	0人	0.0%	16人	7.0%	
１６．医療、福祉、介護に関する専門職について	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	6.7%	1人	3.7%	1人	3.6%	1人	10.0%	2人	8.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	3人	16.7%	3人	18.8%	0人	0.0%	12人	5.2%	
１７．その他	0人	0.0%	2人	11.8%	0人	0.0%	2人	20.0%	0人	0.0%	4人	14.8%	5人	17.9%	**4人**	**40.0%**	0人	0.0%	2人	10.5%	4人	19.0%	**6人**	**33.3%**	1人	6.3%	0人	0.0%	30人	13.1%	

※最大３つまで選択可

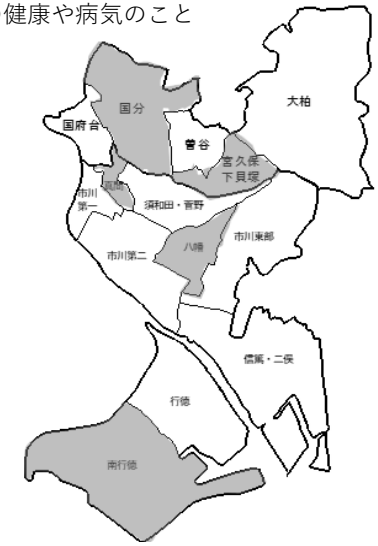
アンケート結果報告

＜市内全域の共通課題＞

1位
10.買い物に行くことが困難



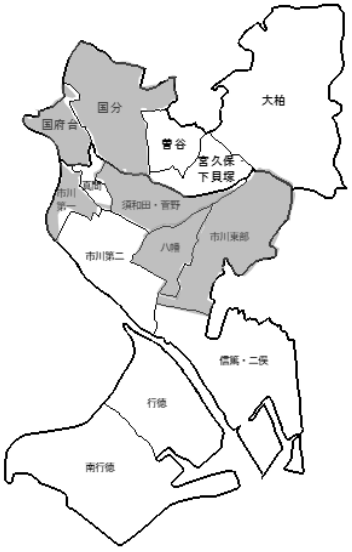
2位
1.自分や家族の健康や病気のこと



3位
12.治安・防犯に関すること



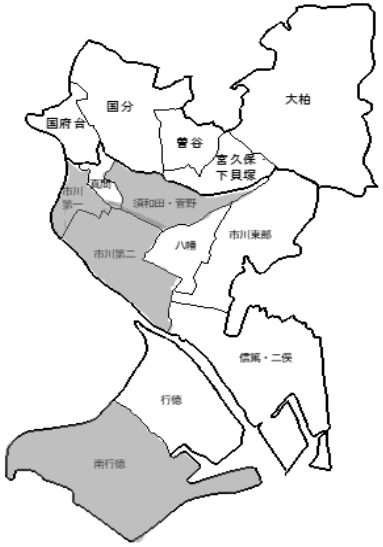
4位
7.空き家やゴミ屋敷



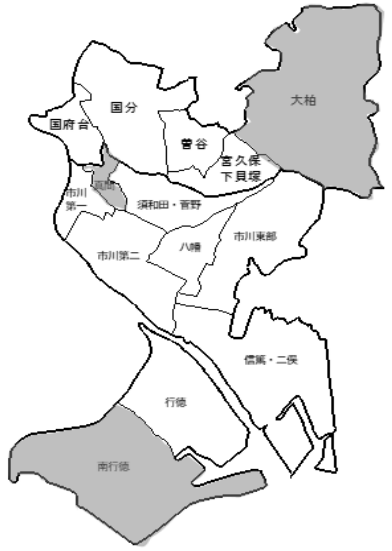
5位
11.交通が不便



6位
9.ゴミ出し



7位
13.老後のこと



共通課題の検討～アンケート結果から～

1．自分や家族の健康や病気のことについて

結果概要

➢２２９人中５７人（２４．９％）が課題と感じている
➢国分、宮久保・下貝塚、真間、八幡での課題感が高い一方、
　市川第二、市川東部、行徳などでは低くなっている

自分や家族の健康や病気のことについての具体的事例

年齢に関すること（19名）
➢年を重ねるごとに身体の不調が出てくる。
➢加齢に伴なう認知力の低下などがあり、今後の生活の質が心配。

独居に関すること（12名）
➢1人暮しで入院するとき、保証人はどうしたら良いか不安。
➢自分で判断することが難しくなる前に、全て段取りをつけなければいけないと思っている。

介護に関すること（9名）
➢老老介護、認認介護等が年々多くなってきている。
➢自立して家から離れた子供たちが、親の面倒まで見きれず音信不通となっている。

健康・通院に関すること（24名）
➢6年前心筋梗塞になり、日々の健康に細心の注意を払っているが再発が心配。
➢通院等の足がなくて、大変との声をよく聞きく。

その他
➢働き手が病気になった時が不安。

地域住民としてできること

➢友愛訪問による見守り。
➢サロンへ誘う。
➢高齢者サポートセンターでの相談を促す。
➢要介護・要支援認定の申請を促す。
➢丁寧に話を聞く。
➢プライバシーに触れてほしくない方もいて、できることが限定される。

2．老後のことについて

結果概要

➢２２９人中４２人（１８．３％）が課題と感じている
➢大柏、真間、南行徳での課題感が高い一方、
　国分、曽谷、宮久保・下貝塚、菅野・須和田などでは低くなっている

老後のことについての具体的事例

独居に関すること（12名）
➢お風呂の清掃・部屋の片づけ・電球の取り替え等が一人で出来ない。
➢自分が亡くなった後のことが心配。

相談先に関すること（7名）
➢将来的に施設への入居を考えているが、どこへ相談して良いのか全くわからない。
➢成年後見制度やてるぼサポートなどの支援制度について、個別相談の前に詳細が知りたい。

後継ぎに関すること（4名）
➢超高齢化がますます進み、子供も高齢化が進み、跡継ぎも無くなり大変心配。
➢年齢を重ねてくると、後を見てくれる人がいない方がいて心配している。

金銭面に関すること（4名）
➢ 「高齢者のお金の管理」が課題であり、自分自身も今後どうすべきか考えている。
➢年金収入だけでは、施設に入ろうとしても足りない。

その他
➢高齢者夫婦だけの家庭が増えてきて、有事の際に子供達への連絡がつくか心配。

地域住民としてできること

➢友愛訪問による見守り。
➢高齢者サポートセンターでの相談を促す。
➢自治会で成年後見制度やてるぼサポート等の説明会の場所を提供し、講師を市に依頼する。
➢成年後見制度の勉強をしようと思う。
➢定期的な声かけ。
➢日常的に交流できる相手をつくる。